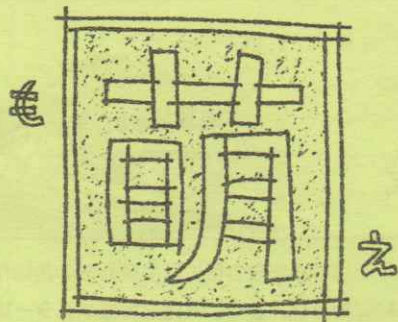




平成 18 年 7 月 18 日
発行：宮崎中学校区地域教育会議
議長：持田正美

宮崎中学校区地域教育会議だより

第 17 号



Moeちゃん

今年のテーマが決まりました！

「地域をすきになろう」

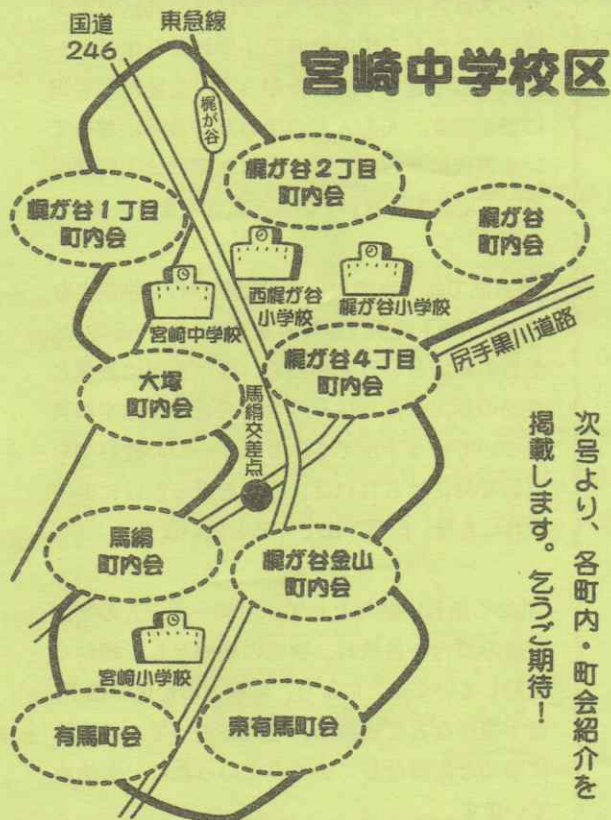
地域に住む一人一人が、その地域に愛着を持ち、住みたくるような町。すきになろうよりも、すきにさせてしまう、住んでいて良かったと思える町。私たち自身がすきな町であれば、みんなが安心して住める、美しい地域ができると思います。

このような地域を作るため「地域をすきになろう」をテーマにしました。

新企画！町内・町会紹介！

私たち地域教育会議は、地域の町内・町会の方々をはじめとするみなさんの協力によって成り立っています。しかし、私たちは、自分の住んでいる町内・町会をどこまで理解しているのでしょうか？ ましてや、ほかの町内・町会の事はもっとわかりません。そこで、各町内・町会の活動や特色を紹介して、住んでいる人たちに、もっと町内・町会に親しみを持ってもらえればと思い、紹介させていただきます。

こんな
町内・町会が
あるんだわ。

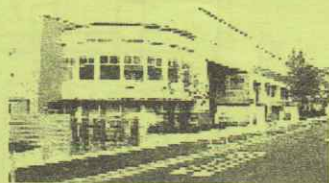


次号より、各町内・町会紹介を
掲載します。乞うご期待！

宮崎中学校区地域教育会議は、川崎市教育委員会と川崎市地域教育会議推進協議会の委託事業です。「市民が自らの責任として教育を行うための自主的・民主的組織」であり、非営利、非宗教、非政党を旨とする団体として、平成 10 年度に発足しました。各学校の保護者・教職員・地域住民が参加し、地域の子育て、住民の生涯学習支援を目的とした活動をしています。

学校訪問

第4回 宮崎中学校



今年60周年を迎える宮崎中学校。高台に位置し、周りを桜並木に囲まれ、すぐ隣には川崎市青少年の家があります。最近立て替えられたばかりの新校舎には教室の他に冷房完備の第1、第2音楽室、視聴覚室、図書室、茶道室(和室)、職員室などが入り、地域教育会議でも時々使わせてもらっている立派な多目的スペースもあります。玄関ロビーはかなり広く、熱帯魚の水槽や、立派な展示スペースにおかれた学校の陳列物も見ることができます。そのまま、

廊下を進むと左右の壁には生徒たちの美術作品がきれいに飾られ、とくに文化財保護ポスターは、コンクールで賞を獲得した力作も多く、目を奪います。しばらく行くと右に職員室があり、その向かいが校長室です。ここでは数々の優勝旗や賞状のほか、日本学生科学賞での数々の入賞、指導教諭賞などの快挙も目にすることができます。この校長室で、教頭の小池先生にお話を伺いました。



宮崎中学校とは

宮崎中学校の特色とは？

まず、かなりの大規模校であるということです。クラスは各学年7クラス、学区は宮前区と高津区にまたがり、広い範囲の小学校から生徒たちが入学してきます。したがって、生徒たちも実に様々です。人と人との関わりが希薄になっていく現代にあって、こういった環境は人間関係を学ぶには実に適していると私は考えています。

教育面では、今年から3学期制から2期制となりました。(前期は夏休みをまたいでいるので)学習の継続という面からも、昨年までは数学と英語のみだった夏休みの学習会を今年は全教科について行う予定です。どれか一つの教科でも自信を持たせられれば、それをきっかけに他の教科にも良い影響が出てくると思います。

他にも新しい試みとして、生徒一人一人の学習の進み具合を各教科、学習の履歴として細かく記録していくことにより、理解力の変化の様子、苦手箇所などを把握し、それに沿って、各生徒に適切な指導をしていく、といったことも始めています。

「命の大切さ」について

今期の「萌」のテーマは「命の大切さ」です。学校では、「命の大切さ」をどのように教えてらっしゃいますか？

直接、そのテーマに関係するのは「道徳」の授業ですね。そこには、「命の尊さを理解して、かけがえのない自他の生命を尊重する」といった項目が含まれています。具体的には、県で作成した「きらめき」という資料集を活用したり、教師が用意した資料を使って、そのときどきのクラスが抱える問題や状況に合わせた授業をしています。教師が一方的に話すのではなく、たとえば、「友だちを助けるために誰かを叩いてしまった」という事例をあげ、「善をなすために悪をなしてもいいのか」といったジレンマに直面したとき自分ならどうするか、と生徒たちの考えを引き出すようなかたちで進めています。道徳の時間は週に1時間、年間で35時間があてられています。



最近、少年の凶悪事件をよく耳にします。それについて何かお考えは？



先日、「人生をリセットしたかった」といって自宅に放火した若者のニュースがありましたね。ゲームや映画などのヴァーチャル（仮想現実）な世界と現実を区別し切れていない子どもがおおいのかなと思います。ゲームとは違って、現実には失われた命は何があっても元に戻すことはできませんから、それを子どもたちにもよくわかってほしいと思います。生徒一人一人に、君は宮崎中学校のかけがえのない一員であり、家庭ではかけがえのない家族の一員なのだとすることを、われわれ教師や大人が常に示してあげなければいけないと思います。

先に「人間関係を学べる」とおっしゃいましたが、学ぶ前につまづいてしまう子もいるんじゃないですか？先生はそういうとき、すぐに気がつくのでしょうか？

生徒を見ていればわかりますね。もし、万一、担任が気がつかなくても、各教科の先生方もちろんと生徒たちを見ています。教師たちのたくさんの目で、多くの角度から生徒の様子を把握しています。



生徒指導について

学校へ来ると、たいてい何人かの生徒から「こんにちは」と挨拶をされます。これは、先生方の指導ですか？

そうです。管理者としては「まず先生たちから挨拶しよう」と教師たちに呼びかけています。最初は下を向いて恥ずかしそうに声を出していた子ども、だんだんこちらの目を見て言うようになるようになりました。子どもたちが、挨拶などの「当たり前のことを当たり前に」きちんとできるようにになるといいと思っています「おはよう、こんにちは、ありがとう、すいません」これらの言葉がちゃんといえるようになるといい

ですね。

保護者の中には、今の先生たちは優しすぎて、注意しなさ過ぎという声もありますが？

何か問題があったとき、「注意をしない」ということはありません。ただ、「暴力、体罰は全面否定」です。また、しかり方にもその教師の個性が出ますから、その中で「指導が甘い」と思われる方もいらっしゃるかもしれません。教師間で「優しい先生、こわい先生」といった差がないようにとは、心がけています。ただ、いくら強圧的にしかっても、何でしかられているのか子どもが理解していなければ意味がありません。どうしたら、子どもにうまく、納得できるように指導できるか、言葉かけをどう工夫するか、我々教師にもつねに研修の必要はあります。生徒を指導するに当たっては、「教師と生徒の信頼関係」と「学校と家庭の連携」が重要です。学校で「だめ」といわれたことが、家では「OK」では、子どもはとまどってしまいますし、結局、自分に一番楽な方へ流れてしまいがちですからね。

最後に地域の方に向けて、何かありますか？

いいことでも悪いことでも、何かあれば、遠慮なく学校までご連絡下さるよう希望しています。先日も、「女子生徒が横断歩道で困っているお年寄りを手助けしているのをみましたよ」と、ご報告下さった方がありました。地域の人たちはいつでも自分たちを見守ってくれているということを子どもたちに知ってほしいと思います。



2時間にわたって、ご自分の考えも交えてお答えいただいた小池教頭先生、ありがとうございました。（インタビュー：前田、鈴木、山田）

*宮崎中学校区地域教育会議では、随時、メンバーを募集しております。地域と子どもたちのことについて、いっしょに考えてみませんか。 問い合わせ 宮崎小学校内地域教育会議事務局 044-866-2218/044-866-2217 富田

ご来場ありがとうございました！ ～春のミニコンサート～



さる3月4日に青少年の家で70余名様のご参加をいただき、「春のミニコンサート」を実施しました。民族音楽、ピアノ、ピアノカ、フルートの演奏とすべてこの地域のすばらしい音楽家の方たちです。幅広い年代層の方の参加がありましたが、日頃このような場所に足を運ぶことの少ないご年配の方には特に好評でした。また今年度も春に実施予定ですので楽しみにお待ちしております。（地域教育会議 加瀬）

夏休み絵画教室 & ポスター募集

夏のひととき、絵筆をとってみませんか？

地域の人や高校生、宮崎中学校の絵画部の人たちといっしょにテーマについて考えながら作品を仕上げていきます。作品は宮前区役所ほかで展示いたします。

テーマ：「ぼくのわたしのすきなまち」

7月25日（火）、8月4日（金） 各日10～12時

宮崎中学校 特別活動室

持ち物：絵を描く道具（絵の具、クレヨンなど）、うわばき
＊画用紙はこちらで用意します。大人大歓迎。1日のみ可。 問い合わせ 854-5747（大久保）

◎インフォメーション

各町内・町会を巡り

有馬町会 7月28日（金）29日（土）

梶が谷

梶が谷1丁目

梶が谷2丁目

梶が谷4丁目

合同で開催

7月28日（金）

29日（土）

大塚町内会 7月29日（土）30日（日）

東有馬町会 8月4日（金）5日（土）

梶小にこにこフリマ 10月14日（土）

西梶グリーンカーニバル 10月22日（日）

宮小ふれあいまつり 11月3日（金）

大塚町会スポーツフェスティバル 10月28日（土）

高津区民祭 7月30日（日）

宮前区民祭 10月15日（日）



つうぐ

新設校 土橋小学校を見て思うこと

“人は、きれいな衣服を着るだけで、心の成長はない”

今年4月、新設校として開校した市立土橋小学校を、去る6月に見学する機会があり、新校舎を約1時間半かけて見学できた。およそ4900坪の敷地に、約1000坪の4階建ての鉄筋校舎、1300坪の緑の天然芝生の校庭、プール棟、そして、内部は実に広くてきれいな廊下や教室、多数の特別室、各階には、教職員の学年別の事務処理室があり、4面ガラス張りの校長室など、全く開放的な校舎の構造には、おどろくばかりであった。

授業中の児童に聞いた。「市内、県内で、1番すばらしい学校だといわれているが、知ってる？」と。児童からは「知らない」の返事しか返ってこなかった。すばらしい施設を持った学校であることを、どのように児童に教えているのか、疑問に感じた。

学校教育で大切なのは、指導力のある教師が多数いて、絶大なPTAの協力、そして教育力のある地域の協力性等があってこそ、その学校の教育環境はすばらしいといえる。新設校で学ぶ児童に、自分の学舎（まなびや）がどれほどすばしいかを教えこみ、児童一人一人が誇りを持って学習できるように指導するのも、教職員や父母たちの協力感であろう。

土橋小の児童たちが、どこまで自覚し誇りをもって、他校にはないすばらしい力を発揮できるか否かは、すばらしい校舎のみではない、児童たちに深くふれていく教職員の強い指導力と、これに協力できるPTAの方々の強い協力性であると思います。すばらしい校舎で6年間をすごすことができ、やがて、すばらしい社会人となって活躍する「よき先輩」になってほしいです。（及川利男）

編集後記

強力な助っ人が加わり、新企画もスタートしました。町内・町会の皆様よろしくお願いします。（前田）

企画・構成：宮崎中学校区地域教育会議 広報委員会

前田達彦 北原玲子 及川利男 鈴木栄子 持田正美 山田弘美 三好美佐江 斉藤重喜 渡辺正人
協力：梶ヶ谷小学校PTA

「萌」へのご意見、ご感想は、上記事務局またはEメール；tatsuno04510@yahoo.co.jp まで